



# あきらめない力

## 箱根駅伝に見た「あきらめさせない力」

1月は早くも30日。1月は多くのスポーツが行われる月でもあります。第102回箱根駅伝、感動しました。特に、1月2日の往路5区。5区は箱根最難関の山上がりで距離20.8キロあり、標高約874メートルを駆け上がります。青山学院大の黒田朝日選手はトップと3分24秒差の5位で襷を受けると、序盤からハイペースで山を駆け上がります。15キロ地点で早稲田大を捉えます。19キロすぎで逆転し、1時間7分16秒でゴール。驚異的な走りを見せてくれました。普通は3分24秒の差があり、今から駆け上がる箱根の山道の傾斜を考えるとあきらめてしまうものです。しかし、黒田選手はトップ目指して必死に駆け上がります。15キロ地点で早稲田大を視界にとらえました。その時、原監督がことごとばかりに「箱根の山に朝日が昇る」と声がけをし、背中を押しました。実は黒田選手はそのセリフを待っていたそうです。前回大会2区（エース区間）で「戸塚の坂に朝日が昇る」の声がけをされていました。今回も「よっしゃ！って思いましたね」と。その後、黒田選手はトップに追いつき抜いていきました。後のインタビューで原監督は「鉄板ネタですよ」と話し、「快走した時でないと使えませんから。本当に大快走でしたから、やっぱり箱根の山に朝日がのぼりましたよね」と黒田選手を賞賛しました。そして、1月3日の往路も1位を譲ることなく快走し、箱根駅伝を総合新記録で優勝しました。

私はこの駅伝を見ていて、走る選手もすごいのですが、選手同士の絆や選手と監督との信頼関係に心が打たれます。残り15キロでどんな声がけをしようか？乾いたら何と声がけするだろう？とTVの映像を見ながら考えます。選手がまっている言葉をかけられる原監督ってすごい方だと思います。その声がけ1つで選手の走りが変わりますから。

## 3年生の面接練習に思う、「あきらめたくない」

いよいよ、3年生の入試が近づいてまいりました。早いところではすでに入試が行われている高校もあります。そんな入試の試験の1つに「面接」があります。本校では、1月28日（水）に全教職員で3年生の面接練習を行いました。この練習は、2年生の先生方が面接官となり、入試当日を想定して行います。普段から話している3年生の先生方なら話しやすいかもしれませんが、他学年の先生方に面接官をしていただくことで、本番さながらの緊張感ももてると考えております。それと同時に、教職員も3年生の生徒の姿から、今の2年生の生徒に足りないことを知るきっかけにもなります。私事ですが、3年担任をしてきて苦い経験をしたことがあり、その経験から面接は全教職員で取り組むものとの思いをもっております。早くから課題を見付け、その改善に取り組むことができれば、「生徒の力になる」との思いです。

苦い経験とは、以前に勤務していた学校でのことです。私は3年生の担任をしていました。クラスにスポーツで高校進学を目指していた生徒がいました。その生徒の技術力は素晴らしく、大会でも好成績を残していました。私も、「絶対に高校が声を掛けに来る。」と自信がありました。しかし、9月になり、10月になっても声はかかりませんでした。そこで、本人の意思を確認し、高校に体験練習をお願いしました。練習終了後、高校の先生に結果を聞くと…、『素晴らしい生徒ですね。技術は素晴らしい…。しかし、「挨拶」ができない。すみません。力になれません。技術の前に挨拶です。「挨拶」はとても大切なんですわ。』と…。私はむっちゃくちや落ち込みました。『毎日、毎日、生徒にもっと挨拶をさせておけば…もっとうるさく言えば…「挨拶」1つで「あきらめなアカン」のか…』後悔しかありませんでした。ただ、「挨拶」は1年で身に付くものではありません。小さい頃から行い習慣化し、身に着くものです。少し自分が楽になるように考えてみましたが、やはり「後悔」しか残りませんでした。しかし、生徒は高校でスポーツを続けられるように勉強をがんばり、見事合格していきました。合格をして、終わりは良かったのですが、「挨拶」の大切さを知る機会となりました。

「挨拶」のように時間がかかる習慣もありますが、すぐに改善できる課題もあります。教職員全員で面接練習に取り組み、明日から改善できる課題からすぐに取り組みたいです。うれしいことに、26日（月）の朝から生活委員会が校門で「挨拶運動」と「服装への呼び掛け」をしていていました。そうです、挨拶は1人でするものではありません。挨拶はみんなでするものです。この機会に挨拶の意味を見直してみてもどうでしょうか。

## 保護者様へ

新年と新学期がスタートしました。

さて、1年も早いもので、3学期：「六花・風光る期」になりました。この「六花・風光る」は、生徒たちの1年間の努力が雪の結晶（六花）のように美しく結ばれ、春の光の中、優しい風が吹く（風光る）1年間の結びとなる期になってほしいとの思いで名づけました。子どもたちは昨年4月とは違い、大きく成長しています。その成長を感じるのは、4月にかけた「言葉」や「こと」の意味の受け止めが、今ではすぐに態度で表すことができるようになったことです。「言葉」や「こと」が変わったのではなく、受け止める生徒の気持ちが変わったと思っています。

3年生は進路に向けて「あきらめたくない学期」、1・2年生は先輩や上級生になるために「あきらめたくない学期」を大切にしながら一緒にがんばっていきたいと思います。本年も学校教育の推進に向け、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 【2月行事予定】

1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	1組:小さな巨匠展 SC
7	土	
8	日	
9	月	3年生:私学・前期事前学習
10	火	京阪神私学入試①
11	水	京阪神私学入試② 定期考査1週間前
12	木	京阪神私学入試③ 2年生:修学旅行説明会
13	金	1・2年生課外学習① SC
14	土	
15	日	
16	月	1・2年生課外学習②
17	火	1・2年生課外学習③ 公立前期選抜
18	水	1・2年生第4回定期考査①
19	木	1・2年生第4回定期考査②
20	金	1・2年生第4回定期考査③ SC
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	公立前期合格発表 1組:小中交流会
25	水	
26	木	公立中期願書点検
27	金	
28	土	SC

※行事予定は変更になる場合があります。

## パンダあきらめたくない

2021年6月23日に東京・上野動物園で生まれた双子のジャイアントパンダ、シャオシャオ（4歳）とレイレイ（4歳）が1月27日（火）、中国に向けて出発し、28日（水）の未明に無事に到着しました。

また日本にパンダが来てほしいですね。「パンダあきらめたくない」です。

